

難聴児に携わる専門家のための アドヴァンスドセミナー

通訳付き

対象：難聴を専門とする医師、言語聴覚士、教育者、保健師、
教育関係者など

日時：2015年10月24日(土) 9:00-17:00 (プログラム終了後、
懇親会予定)
10月25日(日) 9:00-11:30

場所：東京医科大学病院

定員：20名(申し込み順)

会費：20,000円 (Christine Yoshinaga-Itano 教授講演会および懇親会会費を含む)

参加申込・連絡先：東京医科大学病院 聴覚・人工内耳センター

担当：野波 (acic@tokyo-med.ac.jp)

※ご氏名、所属先を明記の上、セミナー希望としてお申し込みください。

1日目：10月24日(土) 9:00-17:00 (プログラム終了後、懇親会予定)

1.NHSの現状と遺伝子

工 穰 先生 (信州大学医学部耳鼻咽喉科准教授)

2.NHS後難聴評価

富澤 文子 先生 (東京医科大学病院)

3.乳幼児の補聴器のフィッティングと注意点

中川 辰男 先生 (横浜国立大学 教育人間学部教授)

4.乳幼児のCIのフィッティングと注意点

各メーカーの特徴にそって (未定)

お昼休み

5.療育・教育指導 日本での現状

① 手話の立場から 榎 陽子 先生 (明晴学園校長)

② 金沢方式の立場から 能登谷 晶子 先生 (金沢大学 医薬保健研究域保健学系教授)

③ 聴覚口話を中心として 北 義子 先生
(国立障害者リハビリテーションセンター・学院 言語学科主任教官)

6.Auditory-verbal Therapy

Rosalie Yaremko, M.Sc. (AVTプログラムディレクター カナダ BC州)

7.Outcomes of children with hearing loss and the 1-3-6 goals for universal newborn hearing screening

Christine Yoshinaga-Itano, Ph.D. (コロラド大学ボルダー校 言語聴覚科学教室教授)

2日目：10月25日(日) 9:00-11:30

AVTの実際 症例検討

Rosalie Yaremko, M.Sc. (AVTプログラムディレクター カナダ BC州)